

Ⅱ 社会「国力の充実をめざす日本と国際社会」（3組）

1 学習の概要

6年生になり、歴史学習がスタートしました。子どもたちの興味関心の高い内容であり、どの子も意欲的に学習を進めていました。しかし、2学期に入り、時代が進むにつれて登場する人物が増えたり、出来事同士の関係が複雑化したりしていき、段々と学習内容が難しくなっていました。

そこで本学習では、調べたことを友達と報告し合い、共にまとめて行く活動を通して、少しでも楽しく、意欲的に学習を進められるよう計画を立てました。また、歴史的事象について深く考え、友達と意見交流をする時間を設けることで、社会科的な物の見方・考え方に触れてほしいという願いをもって授業を進めました。

2 ねらい

- 国力を高め、国際的な地位を向上させるために当時の人々が努力した様子について友達と協力して調べたり、まとめたりすることができる。
- 国際的な地位が向上したことによる影響について考え、自分の意見をもつことができる。

3 取り組み

(1) 日本は、どんな国を目指していたのだろうか

① 画像を見て当時の日本の立場をつかむ

黒船来航や殖産興業の絵などを見ながら、前の単元で学習した内容をふり返りました。その後、ノルマントン号事件の風刺画を見て、当時の日本が置かれていた状況を確認しました。

② 学習のめあてを決める

画像を見終わった後、「日本は、どんな国を目指していたのだろうか。」と投げかけると、子どもたちからは「外国と比べても勝てる国」や「外国と平等な国」という意見が出ました。それらをもとに、学習全体のめあてを『国力を高め、国際的な地位を向上させるため、人々はどんな努力をしたのだろうか』としました。次時から調べていく内容を『政治（国内）』、『戦争』、『政治（国外）』と3つに分類し、子どもたち一人一人が、どの内容で、どのようなことを調べたいかを、個人のめあてとして考えました。

(2) 日本の国際的な地位が向上していった様子について調べよう

① それぞれのめあてについて調べる

自分が決めためあてに関係する内容を、教科書や資料集を使って調べました。その際、同じ内容について調べる子同士でグループを組みました。個人で調べた後に、グループでお互いに進捗状況を確認しながら学習を進めました。調べたことは、ワークシートに記入してまとめていきました。



グループでの交流の様子

② 調べて分かったことを交流する

調べ学習の次は、交流を行いました。ここでは、調べた内容が違う子同士でグループを組み、調べたことを伝え合いました。友達から聞いたことは、ワークシートへ追記しました。活動を通して、自分が調べていない内容についても知ることができました。ワークシートのすべての項目が埋まることで、子どもたちも達成感を感じていました。

次に、同じことを調べた子同士で、調べた内容をまとめました。グループごとにワークシートをコピーしたものを配布しました。それらを、付箋のようにテープで模造紙へ貼り付けました。グループで話し合いながら1つの模造紙へまとめていくことで、学習した内容を頭の中で整理し、知識がより深く定着することを狙いました。



協力して模造紙へまとめよう

(3) 日本の国際的な地位が向上したことによる影響について考え、話し合おう

国際的な地位の向上に関わった出来事について、人々のくらしと外国との関係という2つの観点で影響を考えました。それぞれの観点を10段階で数値化し、その数値にした理由とともに付箋にまとめました。付箋はワークシートに貼り、付箋が集中したところを、『自分の国際的な地位の向上についての意見』として捉えました。

話し合いでは、黒板をワークシートに見立て、自分の意見に相当する場所へネームマグネットを貼り、意見を表明しました。その後、グループで話し合い、友達の意見を聞いて考えが変わった場合は、マグネットを移動しました。マグネットを移動させた子に理由を聞くことで、多様な考えに触れるよい機会となりました。



考えをまとめたワークシート

(4) 学習を振り返ろう

学習の最後に、振り返りとして歴史カルタを作りました。作ったカルタでカルタ大会を開き、明治・大正時代の人物や出来事を再確認しました。大会は大盛り上がりで、楽しく振り返りをすることができました。

4 成果と課題

この学習では、個人で調べたことや考えたことを友達と交流し、学習内容を深めていくことができました。一方、話し合ったことを自分の考えに生かし切れない部分もあり、課題が残りました。

今後は、話し合い後にもう一度自分の考えを構築する時間を設け、他人の考えと自分の考えを比較検討する練習を重ねていきたいです。